

令和7年11月14日

報道関係者各位

山県市

**「ふるさと教育 水と森に学ぶ」事業
粗朶（そだ）づくり体験
11月19日（水）10時30分～ 椎倉山林**

山県市立大桑小学校（校長 田中 香織）は、今年度、岐阜県教育委員会主催「ふるさと教育 水と森に学ぶ」推進事業の実践校として環境教育に取り組んでいます。市内の森林や河川などについて探究する活動を通して、自然環境に対する認識を深め、紹介したり、発表したりすることで、ふるさと山県への誇りと愛着を育みます。

河川の堤防を築く資材として推奨されている粗朶※は、河川環境を守る上で最適でもあるにも関わらず、その作り手である人材が不足している現状です。児童が、ふるさと山県の誇れる地域素材である粗朶に積極的に関わることを通して、自分たちのふるさとのよさや課題に気づき、地域の一員としての意識の向上を図ります。

※粗朶とは、直径数cm程度の細い木の枝を集めて束状にした資材です。粗朶は、コンクリートよりも強い耐久力があるといわれています。長良川の堤防では、川と土手との境を粗朶によって止めることにより、川の流れから堤防の安全を守っている箇所があります。

場 所	山県市椎倉山林（椎倉からファミリーパークにぬける道）※詳細次ページ
日 時	11月19日（水） 10時30分～11時30分
講 師	土田 繁寿 氏
主な参加者	大桑小3・4年生 9人
活動内容	・ 10：30～10：40 説明 粗朶について （徒歩移動） ⇒ 粗朶収集小屋 ・ 10：45～11：10 粗朶づくり体験活動 ・ 11：20～ 感想交流

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山県市立大桑小学校 内田 誠司

Tel：0581-27-2151 Fax：0581-27-3713

Mail：oogasyo@yamagata-gifu.ed.jp

【場所詳細】

